

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第18号
2020年 8月25日(火)
文責 太田 雄司

勝負の2学期 スタート!



例年の約半分程度の17日間の夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。8月17日(月)には、浜松市でこれまでの日本国内最高気温に並ぶ41.1℃を記録するなど、「猛暑」や「酷暑」を超える「危険な暑さ」が何日も続く時期もありました。きっと生活リズムを整えたり、体調管理をしたりすることが難しい夏休みだったのではないのでしょうか。そんな中、昨年度までとは違う夏休みを送ることができたでしょうか? 「自分の弱さや甘さとの勝負・戦い」に勝つことはできたでしょうか? 「苦しい・きつい・辛い」ことから逃げることなく、その壁を乗り越えることができたでしょうか?

2学期初日の生徒の様子を見ると、多くの生徒が「受検生」としての自覚をもち、充実した夏休みを送れたようです。たった17日間でもたくましく成長したなど感じる生徒が多く見られました。反面、毎回の長期休業後と同様に、課題を提出することができない生徒もありました。厳しい言い方になりますが、「このままの状態受検生として大丈夫だろうか?」「課題すら満足に取り組むことができないで、受検のために自分の力を高める学習ができるのだろうか?」と感じざるを得ませんでした。受検生としてより高い自覚と責任感、覚悟をもった行動・生活を心掛けたいものです。

どんな夏休みを送ったとしても過去を変えることはできません。そして、これから行われるテストや受検の日程も待つてはくれません。気持ちを新たに、今この瞬間を大事にしながら、前に向かっていくしかないので、「受検は団体競技」とよく言われます。3年生全員が一丸となって受検に向かっていくんだという心構えを一人一人がしっかりともち、誰一人乗り遅れることなく勝負の2学期を過ごしていけるように我々職員も全力で指導していきます。



夏休み中は大きな事故や問題行動がなく過ごすことができたようです。これも、御家庭での御指導のおかげだと感謝いたします。ありがとうございます。受検に向けての準備と中学校生活最後の学校行事の成功に向けて、2学期も目の前のことに全力で取り組む3年生の姿を数多く見られることを楽しみにしています。そして、個人としても集団としても大きく飛躍することを期待します。今学期も御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

☆始業式の意見発表 「2学期の目標」

＜2組 太田 瑠菜さん＞

私が2学期に頑張りたいことは2つあります。1つ目は受検勉強です。1・2年生のころは受検というとまだまだ先の話のような感じがしていました。しかし、あっという間に3年生になり、家でも学校でも受検について考える機会が増え、だんだんと受検生だという自覚ができてきました。今まで受検に対する意識が低かったこともあり、「もし一番行きたい高校に行けなかったらどうしよう」「これからいろんな誘惑に負けず勉強を頑張れるのか」と、とても不安になりました。その不安を解消するために、今年の夏休みは、毎日何をどのくらい勉強するのかを書いた「スタディノート」というものを作り、計画的に勉強することを心掛けました。すると、勉強の成果が自信になり、勉強することが楽しくなりました。2学期は、「学力診断調査」「中間テスト」「期末テスト」と大事なテストがたくさんあります。今でも、不安はあります。しかし、努力によってそれを自信に変えながら、前に進み続けていきたいです。

2つ目は体育大会と飛躍祭です。今までそれぞれ2回ずつ経験し、行事がクラスの団結にとってとても貴重なチャンスだと感じています。今年の行事は全て中学校で最後となります。規模の縮小などもあって今までとは内容や対応が変わっていきますが、今できることに全力を尽くすことで、今までで一番の思い出になるような有意義な行事にしていきたいです。そして、これをきっかけに私自身も、クラスも成長できたらいいと思います。旭中生としていられる時間はもう1年もありません。後悔しないよう、目の前にあるたくさんのチャンスに自分から挑戦し、一日一日と過ぎていく学校生活を、3年生みんなと、全力で楽しみたいと思います。

